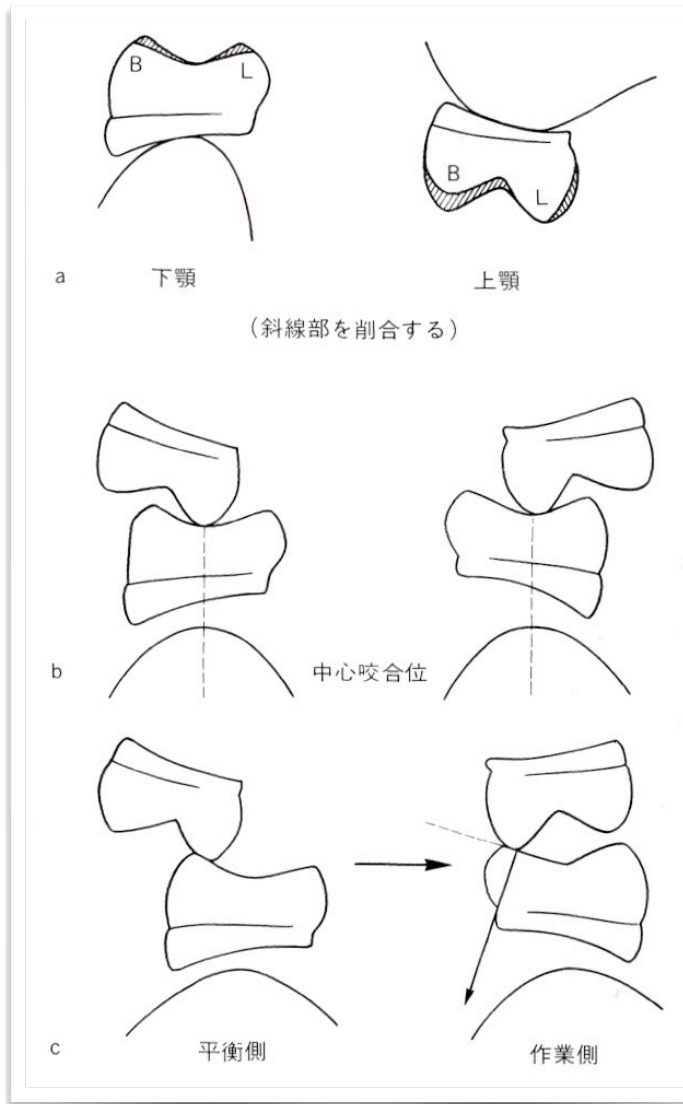


(S.H.Payne. 1941)



Payneのmodified set-up法

30° 陶歯を用い、下顎は咬頭展開角が
 広くなるように、上顎は舌側咬頭が強
 くなるように形態修正する(a).

1歯対1歯の嵌合関係で、中心咬合位、
 側方咬合位ともに上顎の舌側咬頭のみ
 が咬合接触する両側性平衡咬合で排列
 する(b,c)